

最優秀3人中央大会へ

中学英語弁論

中学生が自分の思いや考えを英語でスピーチする「高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会」県大会で、最優秀賞に幸福の科学学園中3年の橋本礼美さん(14)、足利市立山辺中3年の菅原美来さん(15)、県立宇都宮東高付属中3年の澳原紗菜さん(15)が選ばれた。3人は県代表として、27日から行われる中央大会に出場する。喜びの声を聞いた。

受賞者(敬称略)

【優秀賞】後藤せり(大田原・金田北)▽内田真維(宇都宮大共同教育学部付属)▽福地一花(足利・協和)▽小椋花菜(那珂川・馬頭)▽小倉杏優(壬生・南犬飼)

「フツ素」と人絡め伝える

幸福の科学学園中3年

橋本礼美さん



「まさか自分が選ばれるなんて。練習の

成果が実ってうれしい」ととびきりの笑顔を見せた。

小学校低学年の頃から科学に興味があった。その中で知った元素「フツ素」をスピーチで取り上げた。

フツ素はほとんどの元素と結合できるが、結合後も、その本質的な性質は残っているという。「私たちが進歩していくには、他者への寛容さと、自らの基本的な性格を守ることのバランスが大切」とまとめた。自分の言葉で話すことを意識し、表情や声の大きさ、ジェスチャーなど、細部まで

こだわった。弓道部に所属し、多忙な日々を送っている。その中でも入浴中など、隙間の時

間を見つけては練習した。さらに毎晩、教員を前にスピーチし、助言をもらって練習を高めたという。「フツ素のように世界の人たちをつなぎ合わせ、みんなを幸せにできる人になりたい」と目標を語った。

2024年11月6日(水)
読売新聞朝刊より